



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2017年 7月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

第21回日本太鼓チャリティコンサートを開催 「認定NPO法人シャイン・オン・キッズ」の事業活動を支援



(フィナーレ)

5月16日(火)、恒例となった日本太鼓チャリティコンサートを日本財団の助成事業として草月ホール(東京都港区)にて開催いたしました。今回は「ファシリテッドッグ」という独自のプログラムを提供しておられる「認定NPO法人シャイン・オン・キッズ」を支援するために実施いたしました。「ファシリテッドッグ」とは、専門的なトレーニングを受けた犬で、小児がんなどの重い病気と闘う子どもたちに寄り添うことにより、患者とその家族の大きな心の支えになっています。

公演には各国の在日大使、政・官・財界各分野で活躍されている方をはじめ、約300名の方々にご出席いただきました。会場には「シャイン・オン・キッズ」の活動を紹介するパネルが展示され、多くのお客様の関心を集めました。

開演に先立ち、主催者を代表して塩見和子理事長の挨拶の後、共催者を代表して「シャイン・オン・キッズ」ニリー美穂事務局長にご挨拶をいただきました。ご挨拶の中では、静岡県立こども病院からハンドラーの鈴木氏とファシリテッドッグのヨギも舞台上がり、活動を紹介していただきました。

当財団加盟約700団体から選ばれた4団体に加え、昨年12月に開催された「第13回日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝いた野方嘉孝氏(佐賀・大和太鼓保存会)と、本年3月に開催された「第19回日本太鼓ジュニアコンクール」の優勝チーム「和太鼓たぎ

り」(福岡)が出演し、6団体による演奏が行われました。

まず、「みのり太鼓」(茨城)は、若者を中心としたチームらしくキビキビとした太鼓を披露しました。続いて「富岳太鼓竜神組」(静岡)は、知的ハンディーをかかえる方たちの演奏で、6月にタイのバンコクで行われる「ASEAN障害者芸術祭」に出演する高い演奏技術に、お客様から大きな拍手を受けていました。「上州あずま太鼓会」(群馬)は、女性を主体としたチームで独自の太鼓を披露されました。「山部泰嗣&浅野祥・太鼓と津軽三味線」(岡山・宮城)は、太鼓と津軽三味線の良さを醸し出し、息の合った演奏を披露して頂き、お客様を魅了しました。昨年のシニアコンクールで名人位を獲得した野方嘉孝氏(佐賀・大和太鼓保存会)は、大太鼓の神髄を披露し、しっかりと響きのある音でした。最後は「和太鼓たぎり」(福岡)の演奏です。第19回日本太鼓ジュニアコンクールにおいて初優勝に輝いたチームが、課題曲「和～未来へ」と自由曲「キリクサン」を披露しました。曲名の「キリクサン」とは日本の高度成長期を支えた石炭産業の時代、明日の命さえわからぬ炭鉱夫達の中に於いて、最も憧れ尊敬された真のやま男の名称です。予選522団体、5,506名(ブラジル・台湾含む)から選ばれた56チームの激戦を勝ち抜いた見事な演奏にお客様から惜しめない拍手が贈られました。

フィナーレは、出演者全員が舞台上がり、塩見理事長の音頭でお客様とともに恒例の手締めで幕を閉めました。

コンサート終了後には、帰路に着くお客様のために全団体が通路に並び、会場出口では「和太鼓たぎり」が送り太鼓を演奏しました。観客の皆様は、「太鼓に元気もらった」「感動した!」と喜んでおられ、出演者に握手を求めお客様も見られました。

皆様のご協力により1,021,500円の募金が集まり、全額を「認定NPO法人シャイン・オン・キッズ」にお渡しいたしました。ファシリテッドッグの活動費に活かしたいとのことでした。

ご来場頂いた皆様並びに出演者の方々に心より感謝申し上げます。

*「認定NPO法人シャイン・オン・キッズ」よりご寄稿いただきました。

認定NPO法人シャイン・オン・キッズ 事務局長 ニーリー 美穂



この度、公益財団法人日本太鼓財団の皆様のご厚意により、第21回日本太鼓チャリティコンサートを共催させていただきましたこと、団体を代表しまして心より感謝申し上げます。団体発足から10年を迎えた節目でもあり、大変感慨深い思いとともに、各界のVIPの方々が揃われる貴重な場で活動内容をご披露させていただけたことは、誠に光栄でございました。

認定NPO法人シャイン・オン・キッズは、小児がんや重い病気のお子さんとそのご家族のために心血を注いでいます。欧米に比べ日本の医療現場で遅れていると言われている“心のケア”を通じた革新的なサポートを行っておりますが、その1つが「ファシリティドッグ・プログラム」です。看護師資格を持ったハンドラーと幼少期から特別な訓練を受けた犬のペアがこども病院に“常勤”で医療チームの一員として活動しています。今回のコンサートには、静岡県立こども病院で活躍するハンドラーの鈴木恵子とゴールデンレトリバーのヨギ(6歳)も登壇させていただき、参加者の皆様と触れ合いました。

コンサートでは、実力派の名だたる太鼓グループの皆様やシニア名人の方、全国で優勝されたジュニアチームの方々のまさに“トップクラス”の演奏を堪能させていただきました。1時間のコンサートの構成も大変洗練されており、出演者皆様の非の打ち所のないパフォーマンスに引き込まれました。まさに日本文化の神髄を拝見し、誇りを感じるとともに、会場に響き渡る太鼓の音が今でも胸に残るほど感動をいたしました。私どもの支援者で初めて参加された方々からは、今後もぜひ毎年参加したいとのお声が多数ございましたが、私も来年、再来年と可能な限り拝聴したいと思った次第です。

皆様からは総額1,021,500円という多大なるご芳志をいただきました。静岡県立こども病院と神奈川県立こども医療センターの両チームの活動費として大切に使用させていただきます。2018年度には3頭目のファシリティドッグの導入も計画しております。大勢の方々から頂戴した応援のお言葉に身を引き締め、邁進していく所存でございます。

この度のチャリティコンサートにご来場いただきました皆様、演奏者の皆様、また、塩見理事長様を始めとする日本太鼓財団関係者の皆様に重ね重ね御礼を申し上げます。そして今後の日本太鼓財団の益々のご発展をお祈りいたします。

*「みのり太鼓」、「上州あずま太鼓会」よりご寄稿いただきました。

みのり太鼓(茨城) 代表 篠原 孝司

まずはじめに、この度は日本太鼓チャリティコンサートに参加させていただき、誠にありがとうございました。全国でも名高い共演者の皆様と一緒に、このような素晴らしい舞台上で演奏できましたことに改めて厚く御礼申し上げます。

私たちみのり太鼓は、共演させていただいた各グループの演奏を聞き、いつもと違うステージ力や表現力、意気込みを拝見し大変勉強させていただきました。この発見を刺激に変え、さらに研鑽を重ね、さらに良い演奏を創り続けられるよう努力したいと思います。

そして、太鼓に対する「情熱」をととても感じました。日本全国及び世界中に太鼓を轟かせよう！もっと太鼓で盛り上がり！そんな熱い気持ちが伝わってくる一日だった気がします。子どもも大人も、一つのことに夢中になって熱中して、太鼓に向かう姿にととても心動かされるものがありましたし、きっとご来場いただいた方々にも伝わったことと思います。

今回、共演させていただきました富岳太鼓竜神組の皆様、上州あずま太鼓会の皆様、山部泰嗣さま・浅野祥さま、野方嘉孝さま、和太鼓たぎりの皆様、どうもありがとうございました。

最後に、たくさんのお力添えをいただきました日本太鼓財団の皆様をはじめ、関係各位の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。



上州あずま太鼓会(群馬) 代表 須賀 正文

第21回日本太鼓チャリティコンサートに出演して

この度は、第21回日本太鼓チャリティコンサート出演の栄に賜り誠に有難うございました。全国から選りすぐられたチームの中で演奏させて戴けるとは、夢の様で会員一同大変光栄の極みでございました。

上州あずま太鼓会は発足27年になり世代交代も進みつつありますが、精神である和太鼓のもつ伝統のリズムに新しい創造の息吹を取り入れ、より身近な音の世界を確立・・・を目指し日々精進している処です。

今回のコンサートで、重い病に接している子供たちを支援しておられる認定NPO法人シャイン・オン・キッズの活動支援の一助に携われたのであれば幸いです。

今回の出演に際しご尽力賜りました、日本太鼓財団、東京都支部の皆さまに改めて深謝し、ご来場賜りました各オピニオンリーダー・各国大使館関係者のみなさまに感謝申し上げ、日本太鼓財団の益々の発展をご祈念申し上げお礼の言葉と致します。



(富岳太鼓竜神組・静岡県)



(山部泰嗣&浅野祥 太鼓と津軽三味線 岡山・宮城県)



(野方嘉孝・佐賀県・大和太鼓保存会)



(和太鼓たぎり・福岡県)

< 出演団体 >

1. みのり太鼓(茨城県)
2. 富岳太鼓竜神組(静岡県)
3. 上州あずま太鼓会(群馬県)
4. 山部泰嗣&浅野祥・太鼓と津軽三味線(岡山・宮城県)
5. 野方嘉孝(佐賀県・大和太鼓保存会) * 第13回日本太鼓シニアコンクール名人
6. 和太鼓たぎり(福岡県) * 第19回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム

<3月のジュニアコンクールに來日した海外3チームより感想文をいただきました>

ブラジル「源流太鼓」

代表 久野 クラウチオ

ジュニアコンクールへの参加、日本を訪問して源流太鼓がブラジル太鼓選手権ジュニア部門で優勝し、日本行きの切符を手に入れ、日本太鼓ジュニアコンクールに出場するまでには長い年月がかかりました。この年月はメンバーとその親たちに団体として行動すること、敗北に負けないことの価値を教えてくださいました。優勝するためには、メンバーへの尊敬の念を忘れないこと、たくさんの忍耐、身体と心の準備、こういったことを大切にすることで、素晴らしい人間として成長することができるのです。

ブラジル代表として日本に行くことはとても光栄なことであり、責任も伴います。メンバーは練習に熱心になり、ぐっと大人になりました。

今回の日本への旅は、まさに「夢の実現」でした。

わたしはずっと日本に憧れていました。それは祖先の郷土であり、日本の伝統や、技術の発達や土地は狭いの、超大国であるからです。

日本を知るにつれ、日本のすごさがわかってきました。(文化のレベル、組織、人々への教育など。ブラジル人と日本人の間には非常に大きな文化の違いがあります。)

私たちを歓迎して下さった皆さまにとっても感謝しております。日本のジュニアコンクールに参加し、たくさんの太鼓チームと出会い、ゆふいん源流太鼓の長谷川先生に指導して頂くという素晴らしい機会を得ました。ツアー中、ほんとうに皆さまに良くして頂きました。ホテルやレストランのクオリティの高さにはビックリしました。そして、富士山、温泉、ボートレース場、スカイツリー、浅草、ディズニールランド、そして日本のいくつかのお店に連れて行っていただきました。神戸の移民センターに行けたこともとてもよかったです。他国に移民しようとしている人に対して、政府がどのようにケアしてくれていたかを知ることができました。

日本財団、日本太鼓財団、JICAの方々、文化の普及や保存のためだけでなく人間の健康を促進するために重要な団体であることが明確になりました。

日本財団笹川会長、日本太鼓財団塩見理事長にお会いできたことは大変名誉なことでした。

今回来日したことで、わたしたちは日本の知識を深めただけでなく、とても楽しい思い出もつくることができ、お礼の言葉が見つかりません。ただわたしたちが伝えられるのは、「本当にありがとうございました！」という感謝の気持ちだけです。そして、私たちに同行してくれた皆さまにお礼を申しあげます。素晴らしいツアーをありがとうございます。

演奏リーダー 久野 松井 賢 ホドリゴ

源流太鼓チームは「躰け・努力・我慢」を心に刻み、ブラジル太鼓選手権大会の優勝を目指して2011年から練習に励んできました。大会で何度も負けましたが、あきらめず努力を重ねることによってチームが家族同然の付き合いとなり、打ち手同士の絆が深まりました。ジュニアコンクールは年齢制限があるため月日が過ぎ行くとともに先輩達は卒業していき「力を合わせてこそ夢をかなえられる」と教を残してくれました。

2016年に僕は17歳になり太鼓の練習と勉学を両立した結果、医科大学に入学することができました。太鼓や仲間達を残して、大学を続けるために実家から400キロ離れたクリチバ市に引っ越しましたが、ジュニアコンクールを通じて日本へ行く夢だけはあきらめることができず、最後のチャンスに挑戦しました。ハードルは高かったですが第13回ブラジル太鼓選手権大会を優勝し、ブラジルを代表して日本訪問が決まりました。

日本に着くと大澤さんと成瀬さんが迎えてくれました。ジュニアコンクールはそれぞれのチームに特徴があり、技術が高い演奏や打ち方、音の出し方について学ぶことができました。又、400年の歴史を持つ浅野太鼓の太鼓の質、音の響きや感じ方がブラジルとは大きな違いがあることに気付かされました。第19回日本太鼓ジュニアコンクールで5位になれたこと、審査員の方からコメントを頂けた事は私達にとって大きな宝物です。

祖父母がブラジルへ移民するために出港した神戸で、太鼓界で一流指導者として知られる長谷川先生の特別講習会を受けることができました。日本文化体験も盛り沢山、浜松市で温泉体験・横浜・東京ディズニールランド・スカイツリー・浅草、美味しい食べ物ウナギ・シャブシャブ・デザート、全てが圧倒的であつという間に時間が過ぎる中、日本とブラジルの文化の違いが大きいことに気付き、今後のために役立つことを沢山学びました。また、ハンセン病やパラリンピック・オリンピック大会、世界の健康のために日本財団が活動していることは太鼓を続けていく励みとなりました。

この大会を通じて世界の友達の輪が広がり、言葉が通じなくても交流ができる素晴らしさに気付きました。このような機会を与えてくださった日本財団、日本太鼓財団には源流太鼓チーム一同、心より感謝致します。本当にありがとうございました。

アルゼンチン「アカスーソ太鼓」

代表 ウラノ メイウェ ミワ

今回、アカスーソ太鼓が第19回日本太鼓ジュニア大会に特別参加させて頂く事となり、太鼓の経験の浅い少年少女10名が特訓の末、3月13日から3月26日まで、親元を離れ遠い国へ希望に胸を膨らませて旅立ちました。

初めての日本での子供たちは周囲の物全てに目を輝かせ、短いながらも一生の思い出となろう10日間を過ごしました。最大の目的は大会に出場することであるため大会前日2日間の大部分をリハーサルに費やし、待ち焦がれた大会への出場を果たしました。大会では、素晴らしい会場で大勢の観客の前で一生懸命練習した太鼓を披露することが出来、感動で一杯でした。

大会の後は、名誉ある先生方との特別講習会、多数の演奏活動、日本の素晴らしさに出会えた数々の体験、観光。また、ブラジル、台湾、日本の太鼓グループのメンバー達との交流の場を設けて下さった太鼓財団の素晴らしく心のこもった配慮に感謝の言葉もありません。

この体験を基にアカスーソ太鼓のメンバー達は人間的に一回りも、二回りも成長し、太鼓に対する気持ち、情熱も一段と増し、これからは以前よりも更に練習に励む決意を固くし帰国しました。

全ては日本財団のご支援、また、関西空港に着いた時から成田空港から飛び立つまで一時も休まずに付き添って下さった太鼓財団の方々の御蔭です。大変貴重な経験を子供たちにさせて頂き心からお礼申し上げます。

演奏リーダー ビクトリア・ベロソ

私はビクトリア・ベロソで、アカスーソ太鼓のチームリーダーです。日本へ行くことも飛行機に乗ることも初めてでした。

「日本太鼓ジュニアコンクール」本番の前に、2日間リハーサルのために会場へ行きました。とてもきれいなところでした。どの太鼓のチームもとても上手で、感動しました。

演奏本番の日は、とても緊張していましたが、精一杯頑張って、演奏が終って泣いてしまいました。

次の日から、色々なブラジル人学校やモーターボートレース場で演奏が出来て、とても良かったです。生徒たちも先生もみんな親切でした。

静岡県で、桜と富士山を見ることができました。とてもきれいで、写真もたくさん撮りました。泊まったホテルで、温泉に初めて入りました。最初は恥ずかしかったのですが、いい経験になりました。

東京では、色々な珍しい物を見ることができました。道を走っているマリオカートやマラドーナと

チェゲバラの写真もありました。ディズニーランドでは、とても楽しい一日を過ごしました。しゃぶしゃぶも食べることが出来、非常に美味しかったです。

この10日間、資料館や神社にも行くことができました。横浜の「海外移住資料館」と浅草寺、そして太鼓の博物館に行きました。歴史や文化について色々な話を聞いて、特に勉強になりました。

友だちもたくさんできて、相手を大事にすること、チームワークの重要性、そしてチームリーダーの仕事について勉強することができました。

日本太鼓財団の皆さん、色々とお世話になりました。本当にありがとうございました。



(ブラジル・アルゼンチン・台湾チーム)

台湾「葫蘆墩Smile太鼓團」

チーム代表 馮韻怡

葫蘆墩Smile太鼓團は2016年10月9日に台湾太鼓ジュニアコンクールで3回目の優勝を手に入れて、2017年3月神戸での第19回日本太鼓ジュニアコンクールに再挑戦する機会を得ました。

この度コンクールに参加するメンバーは、ほとんどが高校生です。メンバーの中には遠方の高校に通っている子もおります。さらに4人が大学受験を控えての練習でとても厳しいものですが、毎日練習を欠かさずに頑張っていました。

3回目の日本太鼓ジュニアコンクールに出場させていただくのはとても光栄ですが、少しプレッシャーもあり複雑な心境です。

メンバー全員、日本の舞台を経験しているので、少し安心していましたがリハーサルの時に太鼓に慣れず次から次へとバチが折れてしまいました。少し焦りを感じましたが、お互い話し合い克服し2回目のリハーサルでは良くなりました。

コンクール当日の演奏では、皆完全に太鼓に溶け込み楽しく演奏しました。結果は前回より下がりましたが激しい競争の末第4位を頂きました。全力で演奏しましたので、達成感を感じるとともに良い思い出になりました。

心から葫蘆墩Smile太鼓團を応援して下さった皆様に感謝致します。皆様のお陰で学業を中心の台

湾社会に太鼓学習を通して、礼儀正しい態度、妥協せずに頑張る精神を養成することができております。また、メンバー達にとって国際舞台での経験は、大きな糧となることを確信しております。

塩見理事長をはじめ、指導して下さった長谷川先生、太鼓財団の皆様、いつもありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。感謝！最感謝！



(台湾チームのジュニアコンクールでの演奏)

演奏メンバー 江芸珊

第15回日本太鼓ジュニアコンクールは、私にとって初めての日本の大会でしたので、緊張と期待感を抱いての参加となりました。2回目の第17回日本太鼓ジュニアコンクールは、必ず優勝を勝ち取りたいという思いで日本に行きました。今年は3回目ということで、あまり緊張せずに落ち着いた気持ちで、最後のジュニアコンクールに参加する事ができました。コンクールに向けて練習する1年の間に、自分なりにいろいろと考え改善してきました。

毎日一生懸命太鼓に打ち込みましたが、うまくいかずに悩むこともありました。けれどもあきらめずに挑戦しようと、ジュニアコンクールへの参加を決意しました。

参加を決めた後もメンバーとぶつかり合い、分りあえずに何度も諦めたくになりました。けれども最後には自分の夢のために練習する機会があることを幸せに感じました。また、メンバーのみんなが自分を励まし、応援してくれることがとても心強かったです。

日本についてからの2日間のリハーサルの中で、いろいろな問題が発生し、うまくいかないのではないかと、みんなの期待に応えられないのではないかと不安になりました。でももう最後の1日を迎え、自分のやれるだけのことを全力で出し切ろうという思いになりました。台湾の皆に応援してもらったことを思い出し、自分の自信とし、演奏に臨みました。演奏はとても楽しく、満足できるものでした。悔いなく演奏を終えることができ、大変ほっとしました。結果は思うようなものではありませんでしたが、舞台を楽しむ事ができ、たくさんの拍手をいただき、夢が叶ったような気持ちになりました。

このような貴重な体験をさせて頂き、本当に幸せに思います。私たちを指導して下さった長谷川先生、王理事長、めい先生、宇哲先生、馮先生、そして常に支えてくれた両親に感謝致します。また、この舞台を下された日本太鼓財団塩見理事長を始め事務局の皆様感謝いたします。もし皆さんの支えがなければ、このような経験をする事ができなかったと思います。

今回のコンクールでは、諦めないで頑張る事を学びました。この体験を忘れず、次のステップに活かしたいと思います。

成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月15・16日(土日)、千葉県成田市において「成田太鼓祭」が開催され、今年も24万人もの人が訪れました。

2日間、成田山新勝寺の境内と表参道周辺で56団体・延べ約1,500人が演奏を繰り広げ、今回は初めて台湾から台湾太鼓ジュニアコンクールで第3位となった泰山太鼓団が参加しました。2泊3日の弾丸ツアーとなりましたが、成田太鼓祭での精一杯で元気溢れる演奏は来場者の心に深く刻まれたようです。

千葉県支部、千葉県太鼓連盟、当財団の共催により設置した「全国太鼓情報発信基地」のブースには両日合わせおよそ2,400人のお客様が訪れ、展示した事業紹介のパネルをご覧いただきました。浅野太鼓のご協力を得て設置した大太鼓をお客様に実際に叩いてもらうコーナーでは、多くの方々が太鼓に親しまれていました。



タイ・バンコクで日本太鼓公演

5月31日(水)から6月4日(日)にかけてタイ・バンコクに、富岳太鼓竜神組(静岡県)を派遣いたしました。これは日本財団より「ASEAN障害者芸術祭」に障害者チームの派遣要請を受け、実現したものです。

5月31日、日本からタイのスワンナプーム国際空港に到着後、バンコク市内の会場を見学、翌6月1日はリハーサルを行いました。

本番の6月2日・3日、開演前から多くのお客様が集まり、両日とも座席が足りなくなるほどの盛況となりました。立ち見を含めた3,000名のお客様は、出演した11カ国13団体の演奏に固唾を呑んで聞き入り、特に富岳太鼓竜神組の演奏にはその迫力に一際大きな拍手が送られていました。

今回の公演には、タイ政府からも多数の出席を得られ、障害者の活動に理解を深められたとともに、日本太鼓の普及、文化交流の一翼を担うことができました。



(富岳太鼓竜神組演奏の様子)



(集合写真)



(ブルネイのチームと記念撮影)

＜派遣メンバー＞

富岳太鼓竜神組：早野均(引率代表)、
勝間田千寿子(職員)、大竹肇、久保田真喜、
三橋磨美、宮野由仮
(公財)日本太鼓財団：塩見和子(理事長)、
印出公平(事業部長)、成瀬靖子(総務係長)

以下、富岳太鼓竜神組(障害者メンバー)から感想文をいただきましたので、掲載いたします。

大竹 肇

こんかいで、3回めのかいがたいこうえんになりました。

自分しんゆうきをもって、たいこをたたく事に、チャレンジになりました。

1日目のこうえんでは、おきゃくさんがたくさん入っていたので、すごいなと思いました。ビックリしました。

さいごのはくしゅは、自分にとって、いいけいけんになりました。

5日、たいへんでしたけど、いいべんきょうになりました。

しおみさまありがとうございます。

久保田 真喜

タイ公演に参加させていただきありがとうございます。ほかの国とちがってあつかったけど、沢山の皆さんに拍手をいただきました。とてもうれしかったです。ほんとうにありがとうございます。塩見先生、印出さん、成瀬さん、大変お世話になりました。私はこれからも太鼓がんばります。

三橋 磨美

タイ公演に参加しての感想は海外公演も初めてでいい勉強になりました。

海外公演では私達のほかに12団体の障害を持っている人達が参加していました。目の見えない人や耳のきこえない人達がたくさんいました。目の見えない人達の演そうや耳の聞こえない人達の演そうはみんなの気持ちが一つになっていて、リズムもそろっていてすごいなと思いました。私達竜神組は目の見えない人や耳のきこえない人達とはちがって、目が見えて耳がきこえて音をききとる事ができます。でも太鼓の演そうをきくと他のチームとはちがってリズムのそろわない所などみんなの気持ちが一つになって演そうすることがなかなかできません。この海外公演を通じてもっとたくさん練習をしてみんなで気持ちが一つになるように練習も公演も一つ一つ大切にしていきたいと思いました。そのためにはまず自分自身が練習をして自分のできない所やリズムが早くなってしまう所をなおしていきたいです。タイに行って富岳太鼓竜神組を知ってもらうことができよかったですと思います。

これからもっとたくさんの人達に知ってもらえるように頑張っていきたいと思います。

塩見理事長先生、財団のみなさま今回このようなきょうなけいけんをさせてもらいありがとうございます。

宮野 由仮

はじめての、海外公演でとてもきんちょうしました。皆さんのおかげでたのしく太このえんそうができました。本当にありがとうございます。

各地で講習会を開催！

＜第59回日本太鼓全国講習会（福島）＞

6月24・25日(土日)、福島県支部主管の全国講習会を郡山市の「片平ふれあいセンター」にて実施いたしました。地元福島県をはじめ、12都道県から107名が受講しました。開会式では、塩見和子理事長、東北太鼓連合齋藤通夫会長、福島県支部高橋雅行支部長(福島民報代表取締役社長)、来賓として菅野利和郡山市副市長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり2日間の講習会が始まりました。受講生たちは熱心に講習を受けていました。

○基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
 3級基本講座 鈴木 孝喜
 4級基本講座 渡辺徳太郎
 5級基本講座 渡辺 洋一

○専門講座講師
 御諏訪太鼓講座 松枝 明美
 大太鼓講座 山内 強嗣
 秩父屋台囃子太鼓講座 高野 右吉

○講話「太鼓について」 浅野 昭利

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 10名受験 10名合格(2名認定)
 2級検定 26名受験 26名合格(9名認定)
 3級検定 13名受験 13名合格・認定
 4級検定 17名受験 17名合格・認定
 5級検定 29名受験 29名合格・認定



(大太鼓講座の様子)

＜第75回日本太鼓支部講習会(北海道道北)＞

4月22・23日(土日)、北海道道北支部主催による支部講習会が旭川市の「永山公民館」で行われました。今回は地元北海道を中心に2都道から59名が参加しました。開会式では主催者代表として安田優司支部長、西川まさひと旭川市長、そして古屋邦夫技術委員長からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。まだ雪の残る北海道で、受講生は2日間一生懸命受講していました。

○基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
 4級基本講座 今池 薫
 5級基本講座 橋本 光司

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

4級検定 28名受験 28名合格・認定
 5級検定 27名受験 27名合格・認定



(4級基本講座の様子)

＜第76回日本太鼓支部講習会(長崎)＞

5月27・28日(土日)、長崎県支部主催による支部講習会が波佐見町の「波佐見町総合文化会館」で行われました。今回は5都県から42名が参加しました。開会式では主催者代表として川尻和則支部長、そして古屋邦夫技術委員長からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。

長崎では初めてとなる支部講習会でしたが、講習内検定に多くの参加があり、指導員としての昇級にも意欲的に臨まれていました。

○5級基本講座 古屋 邦夫(総合指導)

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級検定 32名受験 32名合格・認定



(5級基本講座の様子)

<第77回日本太鼓支部講習会(鹿児島)>

6月17・18日(土日)、鹿児島県支部主催による支部講習会が霧島市の「霧島市立高千穂小学校体育館」で行われました。今回は4都県から34名が参加しました。開会式では主催者代表として平田寿一支部長、そして長谷川義全九州名誉会長、当財団大澤和彦常務理事からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。

5月に行われた長崎支部講習会に続き、こちらにも多くの講習内検定の方が参加され、九州の熱い思いが感じられました。

○5級基本講座 古屋 邦夫(総合指導)

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級検定 25名受験 25名合格・認定



(5級基本講座の様子)

<第11回台湾太鼓講習会>

7月8・9日(土日)台湾太鼓協会主催の第11回台湾太鼓講習会を、台北桃園国際空港に近い「救國團復興青年活動中心」にて実施し、台湾全土から113名が受講しました。

開会式では、王妙涓理事長の挨拶に続き、総合指導の古屋邦夫技術委員長が講習会の内容を説明、日本からの講師を紹介しました。開会式の最後には日本の講習会に参加し、技術認定員1級・2級に認定された方の認定式が行われ、受講生たちは講習会への意欲を高めていました。講習会が始まると、講師の指導を一生懸命聞いていました。

○3級基本講座 松枝 明美

4級基本講座 渡辺徳太郎

5級基本講座 古屋 邦夫(総合指導)

今回は自費参加で高島奈々(岐阜)、高島笑美(岐阜)、吉岡賢次(兵庫)の3氏が助手として活躍されました。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定 27名受験 27名合格・認定

4級検定 32名受験 32名合格・認定

5級検定 54名受験 54名合格・認定



(3級基本講座の様子)

助六太鼓が囲碁大会のレセプションに演奏協力

4月20日(木)、世界で活躍する20歳以下の囲碁棋士を対象とした「グロービス杯世界囲碁U-20」のレセプションにおいて(公財)日本棋院からの出演依頼を受け、助六太鼓が演奏を披露いたしました。

当日会場には世界各国から集まった若手の囲碁棋士を含む、約100名の観客が助六太鼓の粋な演奏に入っていました。



訃報

日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました鯉沢囃子保存会の深澤登志夫氏が2017年5月19日に逝去されました。(満83歳) 深澤氏は山梨県支部支部長として、また当財団評議員として永年の間、財団の活動にご協力いただきました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

各種会議を開催

<理事会>

6月9日(金)、2017年度理事会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2016年度事業報告及び決算について
2. 評議員会の開催

<評議員会>

6月29日(木)、2017年度定時評議員会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2016年度事業報告及び決算について
- *なお、次回の理事会、評議員会は来年3月9日(金)です。

<運営委員会・技術委員会>

1. 2016年度事業報告並び決算報告について
2. 2017年度事業計画並びに予算案について
 - ・第2回大学太鼓フェスティバルについて
 - ・第20回日本太鼓ジュニアコンクールについて
3. 日本太鼓資格認定事業について
 - ・公認指導員の認定について
 - ・公認指導員の特別推薦について

<代議員会>

7月6日(木)、第20回代議員会と第59回運営委員会・第60回技術委員会の合同委員会が東京都港区の笹川記念会館で開催されました。

代議員会には、45支部中、島根、広島、沖縄を除く42支部、賛助会員、日本財団、財団事務局が出席、総勢100名により開会しました。

冒頭、笹川良一氏、津田元会長、小口・池田両元副会長の4氏と東日本大震災の犠牲者やこの1年間に亡くなられた故人に対し黙祷の後、議事に入りました。議事、承認された事項は次の通りです。

1. 2016年度事業報告及び決算報告について
2. 2017年度事業計画及び収支予算について
3. 財団設立20周年事業について
 - ・第21回日本太鼓全国フェスティバル
 - ・20周年記念太鼓フェスティバル
 - ・20周年記念誌の作成
 - ・公認指導員の特別推薦
4. その他
 - ・第20回日本太鼓ジュニアコンクール予選一覧
 - ・各種大会参加実績について
 - ・2017年度支部総会資料等の提出状況

公認指導員が誕生

公認指導員の昇級条件となる講習内検定を経て、運営・技術合同委員会で検討した結果、富永希一氏(大分・豊の国ゆふいん源流太鼓)、野依修視氏(大分・ZENKAI太鼓「和」)、中津洋二郎氏(宮崎・日南和太鼓雷殿)、長谷川準氏(大分・豊の国ゆふいん源流太鼓)が2級公認指導員に昇級されました。また、遠藤光枝(福島・うねめ太鼓保存会)、坂下晃氏(東京・邦楽アカデミー)、鈴木和正氏(東京・邦楽アカデミー)が3級公認指導員に認定されました。おめでとうございます。2017年7月31日現在、1級公認指導員は43名、2級33名、3級124名となりました。今後益々のご活躍を期待しております。

第2回大学太鼓フェスティバル

期 日:2017年8月31日(木) 開場17:30 開演18:00
会 場:文京シビックホール 大ホール 東京都文京区春日1-16-21 Tel. 03-5803-1100

入場料:無料

主 催:公益財団法人日本太鼓財団 共 催:大学太鼓フェスティバル実行委員会
協 力:株式会社宮本卯之助商店 協 賛:日本財団

出演団体(出演順):

1. 武蔵野大学和太鼓隼(東京都西東京市)
2. 西武文理大学和太鼓同好会鼓月(埼玉県狭山市)
3. 中央大学和太鼓サカ鼓央(東京都八王子市)
4. 東京学芸大学和太鼓サカ結(東京都小金井市)
5. 流通科学大学和太鼓部(兵庫県神戸市)
6. 和光大学わ太鼓サカ竜鼓座(東京都町田市)
7. 早稲田大学和太鼓サークル魁響(東京都新宿区)
8. 日本体育大学伝統芸能和太鼓同好会(東京都世田谷区)
9. 東京農業大学和太鼓同好会山響鼓(東京都世田谷区)
10. 立教大学邦楽サカ「合唱団アール会」(東京都豊島区)
11. 文教大学和太鼓部楓(神奈川県茅ヶ崎市)

ゲスト団体:高野右吉と秩父社中(埼玉県)

八丈太鼓六人会(東京都)

山部泰嗣(倉敷天領太鼓・岡山県)

和太鼓たぎり(福岡県)*第19回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム

事務局だより

日本太鼓財団創立20周年記念 第21回日本太鼓全国フェスティバル

期日:2017年9月21日(木) 開場18:00 開演18:30

会場:国立劇場大劇場 東京都千代田区隼町4-1 Tel. 03-3265-7411

主催:公益財団法人日本太鼓財団

主管:関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部

協賛:日本財団

出演団体:東京都合同チーム(東京都)

(出演順) 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会(北海道)

尾張新次郎太鼓保存会(愛知県)

太鼓道場風の会(山形県)

高野右吉と秩父社中(埼玉県)

富岳太鼓竜神組(静岡県)

銚子はね太鼓保存会(千葉県)

和太鼓たぎり(福岡県) * 第19回日本太鼓ジュニアコンクール優勝

八丈太鼓六人会(東京都)

手取亢龍太鼓保存会(石川県)

御諏訪太鼓保存会(長野県)

石見神代神楽上府社中(島根県)

御陣乗太鼓保存会(石川県)

豊の国ゆふいん源流太鼓(大分県)



*各プレイガイドにて前売券販売中!

キョードー東京	Tel. 0570-550-799
チケットぴあ(Pコード:636-210)	Tel. 0570-02-9999
ローソンチケット(Lコード:30085)	Tel. 0570-084-003
CNプレイガイド	Tel. 0570-08-9999

入場料:前売券2,500円 当日券3,000円 詳しくは当財団HP (<http://www.nippon-taiko.or.jp>)をご覧ください。

第60回日本太鼓全国講習会(長野県箕輪町)

期日:2017年9月16・17日(土日)

主管:日本太鼓財団長野県支部、みのわ太鼓保存会

会場:箕輪町文化センター 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪10291 Tel. 0265-70-6601

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

専門講座

3級基本講座

安江 信寿

三ツ打太鼓講座(複式単打法)

河合 睦夫(富山)

4級基本講座

若山 雷門

八丈太鼓講座(単式複打法)

菊池 修(東京)

5級基本講座(初心者講座)

渡辺 洋一

御諏訪太鼓講座(複式複打法)

松枝 明美(長野)

講話「太鼓について」 浅野 昭利(浅野太鼓文化研究所理事長)

お問合せ:日本太鼓財団長野県支部

事務局長 松枝 明美

申込先:公益財団法人日本太鼓財団 担当:印出、笠原

電話:0266-23-6146

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

申込締切:8月20日(日) *当日到着分まで有効

Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580

第79回日本太鼓支部講習会(北海道道西)

期日:2017年9月23・24日(土日)

お問合せ・申込先

主催:日本太鼓財団北海道道西支部

日本太鼓財団北海道道西支部 支部長 秦野 智徳

会場:幌向総合コミュニティーほっとかん(北海道岩見沢市)

〒069-0372岩見沢市幌向南2条3丁目315-18

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

Tel. 0126-26-2825 Fax. 0126-26-3939

専門講座 橋本流地獄太鼓(単式複打) 橋本光司(北海道)

携帯 080-1899-5761

3級基本講座

今池 薫

申込締切:9月10日(日) *当日到着分まで有効

第32回国民文化祭・なら2017「太鼓の祭典」

期日:2017年10月15日(日) 開場9:00 開演10:00 終演予定18:00

会場:DMG MORI やまと郡山城ホール 奈良県大和郡山市北郡山町211-3 Tel. 0743-54-8000

入場料:無料* 入場整理券が必要となりますので第32回国民文化祭大和郡山市実行委員会(Tel. 0743-53-1156)までお問合せください。

主催:文化庁、奈良県、奈良県教育委員会、第32回国民文化祭奈良県実行委員会、大和郡山市、大和郡山市教育委員会、第32回国民文化祭大和郡山市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団

主管:日本太鼓財団奈良県支部、奈良県太鼓連盟

オープニング演奏:奈良県太鼓連盟合同チーム(奈良)

公募団体:42団体(22都府県+台湾)

午前の部(第1部)10:10~12:50

開成水神雷太鼓保存会(神奈川)、志賀天友太鼓(石川)、創作和太鼓駒の会(宮城)、海田鼓童子(広島)、こかばの会(埼玉)、和太鼓ユニット「絆」(大阪)、和太鼓鳴桜(なを)(長野)、高根沢湧泉太鼓の会(栃木)、結城紬太鼓(茨城)、HANABI(京都)、天くう(愛知)、大井太鼓(京都)、天徳幼稚園保護者サークル・天悠楽(石川)、仰願寺幼稚園浅草わんぱく太鼓(東京)、郷土サークル野火(大阪)、藤枝太鼓(静岡)、鼓風(宮城)、匹見太鼓喜楽組(島根)、近鉄百貨店諏訪太鼓(三重)、私立光明学園相模原高等学校(神奈川)

午後の部(第2部)13:30~15:50

輪島高洲太鼓(石川)、打吹童子ばやし(鳥取)、宇治田原和太鼓サークル萌(京都)、大阪府立河南高等学校和太鼓部「地車」岡村組(大阪)、Japanese Drum和☆Rock(広島)、吾北清流太鼓一番風(高知)、下野不動太鼓保存会(栃木)、四日市諏訪太鼓龍雅(三重)、播州新宮越部太鼓(兵庫)、広島錢太鼓山川流立川会(広島)、京都和太鼓龍船(京都)、石神井太鼓保存会せんば太鼓(東京)、神戸太鼓保存会(兵庫)、岐阜県太鼓連盟獅子の会(岐阜)、台湾太鼓協会合同チーム(台湾)

午後の部(第3部)16:05~18:00

アゴラ太鼓(奈良)、信濃国松川響岳太鼓(長野)、盛岡さんさ踊り清流(岩手)、鼓國雷響JAPAN(岐阜)、大治太鼓保存会(愛知)、新潟万代太鼓振興会(新潟)、やまと獅子太鼓(奈良)
ゲスト団体:5団体(5都県)
太鼓集団天邪鬼(東京)、尾張新次郎太鼓保存会(愛知)、倉敷天領太鼓(岡山)、御諏訪太鼓保存会(長野)、豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)

第19回日本太鼓全国障害者大会

期日:2017年10月1日(日) 開場11:30 開演12:00 終演予定17:00

会場:御殿場市民会館 静岡県御殿場市萩原183-1 Tel. 0550-83-8000

入場料:無料

主催:公益財団法人日本太鼓財団

共 催:社会福祉法人富岳会

主管:日本太鼓財団静岡県支部

出場団体:30団体程度

第14回日本太鼓シニアコンクール出場者募集!

期日:2017年11月19日(日) 開演14:00 *午前中に日本太鼓ジュニアコンクール石川県予選が開催されます。

会場:津幡町文化会館「シグナス」 石川県河北郡津幡町北中条3丁目1番地 Tel. 076-288-8526

入場料:無料

主催:公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社

主管:日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会

出場資格:①個人が審査の対象となる場合は大会当日満60歳以上であること。

(伴奏者は3名以内とし、伴奏者の年齢は問いません。)

②団体が審査の対象となる場合は、全員が大会当日満60歳以上であること。

(ただし伴奏者として60歳未満1名の出場を認めます。)

演奏時間:5分以内 表彰:名人位・準名人・特別賞等 費用:全ての費用は出場者の自己負担(参加料は不要)

お問合せ・申込先:公益財団法人日本太鼓財団 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 担当:印出、笠原

Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580 申込締切:8月31日(木)

公益財団法人 日本太鼓財団

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

